

## 真面目に議論せよ！ 「こしょう」表示を早急に撤去せよ！ 教育なき再教育をやめろ！

### 《19年度「安全対策の推進について」経営協議会開催》

本部は4月24日、経営協議会を開催し、会社から別紙のとおり「平成19年度安全対策の推進」について説明を受けました。これを受け、萩原委員長は3項目にわたり J R 東海労の安全に対する認識を明らかにしました。具体的には踏切の「こしょう」表示の廃止改善、ブレーキディスク亀裂の問題、乗務員の再教育に関して会社の見解を求めました。しかし、会社は議論をかみ合わそうとはしませんでした。安全に対する会社姿勢に組合として強く抗議してきました。

#### 【萩原委員長発言要旨】

1. 安全は労使を超えた課題である。踏切の「こしょう」表示について会社は、今後3年かけて1700ヶ所の「こしょう」表示の改善をはかるとマスコミ発表した。しかし、3月の経営協議会では「昨年3月の業務委員会で回答した通りである」と回答している。この3月の経営協議会の段階で改善計画があったのか。あったとしたらなぜ3月の経営協議会で言わないのか見解を求める。
2. 7月から新型車両N700が投入される。しかし、一方で相変らずブレーキディスクの亀裂が続いている。発生状況とその対策を明らかにせよ。N700のブレーキディスクを厚くしたように、今後、ブレーキディスクの材質や形状を変更があるのか明確な回答を求める。
3. 4月25日で尼崎事故から2年が経過した。職場での社員に対する再教育は「教育なき再教育」になっていると言わざるを得ない。試験のみを優先し理解ということがないがしろにしている実態である。この再教育に対して見解を明らかにせよ。

#### 【委員長の発言に対する丹羽勤労課長の見解】

1. 組合から申35号で申し入れがされているので業務委員会で協議を行う。3月の

経営協議会では発表する段階ではなかった。

2. ブレーキディスクに関しても申し入れがされているので業務委員会で協議を行う。
3. 再教育についても1項2項と同様で業務委員会で協議を行う。

以後、主な議論内容

### **何のための安全経営協議会か！**

組合：組合から質問しているのだから回答せよ。

会社：申し入れをしているから業務委員会で議論すればよい。

組合：業務委員会でも議論する。しかし、この場合は安全経協だ。答えないとすれば何のための安全経営協議会なのか。経協でも答えるべきだ。

### **早急に踏切「こしょう」表示を撤去せよ！**

組合：踏切「こしょう」表示を何箇所改良したのか。残りの箇所については。

会社：69ヶ所を変更した。残りについては平成19年から23年までに改善する計画である。

組合：5年間は長すぎである。前倒して早急に「こしょう」表示を撤去すべきである。改善計画はマスコミ発表前に、労働組合に提示が基本である。

### **ブレーキディスクの亀裂原因調査を開示せよ！**

組合：ブレーキディスクの亀裂は未だに発生している。調査や原因の進捗状況を明らかにされたい。

会社：業務委員会で議論すればよい。亀裂の把握や追跡調査は現場でやっている。基準値を超えたら台車交換を実施しているので問題はない。

組合：台車交換は台検から台検が基本である。台車交換をすればよいという姿勢ではなく、亀裂発生の根本原因を追及すべきである。

### **教育なき再教育は中止せよ！**

組合：再教育は「教育なき再教育」となっている。試験の点数のみで判断されている。これではまったく教育とは言えない。

会社：適切に判断し、適正に実施している。

組合：2年前の尼崎事故でも日勤教育が問題視された。乗務員のプレッシャーとなっているのが現実だ。プレッシャーを感じる再教育は中止せよ！

**会社の安全に対する不誠実な態度が明らかになり、議論をかみ合わそうともしませんでした。このように「安全対策の推進」をいくら声高に叫んでも、社会に責任を持ち、貢献しているとはいえません。安全対策に関連して、組合員の皆様のご意見をお寄せ下さい。**

以 上